

城山エコミュージアム通信

令和6年（2024）1月15日 第45号

エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方のもとに、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。



たつごやま 龍籠山と境川の源流域

現在、境川の源流（湧水口）は東京都の草戸山山頂から少し下ったところに見ることができますが、城山地区からは宝沢（ほうざわ）、本沢（ほんざわ）などの沢が境川に繋がっています。本沢ダムでせき止められた本沢調整池は城山湖と呼ばれていますが、かつてはクマデガサという湿地帯になっていて谷戸田（田んぼ）がありました。



城山湖

城山湖は相模川総合開発事業の一環で純揚水式の発電をするために昭和40年に誕生した人造湖です。城山湖の水は、標高の低い津久井湖の水をくみ上げたものです。
(神奈川県企業庁)

周辺にはハイキングコースがあり、春夏秋冬美しい景色と自然を満喫できる場所です。アサギマダラや国蝶のオオムラサキなどの希少なチョウや、タカ類の渡りをはじめとする野鳥などの観察ができる場所でもあります。

境川は、河川改修前は曲がりくねった河川で暴れ川と呼ばれるほどで、源流域にある龍籠山から片瀬江ノ島の龍口（たつのくち）まで流れていて龍にまつわるいわれがあります。城山地区にも雨降、滝尻、風間、穴川など地名に残る伝説が伝わっていて、龍が住んでいたといわれる雄龍籠山、雌龍籠山の二つのこんもりした山があります。

昭和16年3月、深い霧が山を覆い爆撃機が墜落し2名が亡くなり、昭和19年4月8日、やはり霧深い日に戦闘機乗員が墜落して乗員が亡くなりました。地元の人々は続く不幸に心を痛み航空神社を建て犠牲者を悼みました。（田畑房枝）

出典：「うぶすなに生きて」斎藤正著。「航空神社記念碑」



境川湧水口



雄龍籠山山頂付近にある航空神社

祠の後ろに記念碑があり、亡くなった方々、寄進した方々の記録がある。



今回のトピック ■特集「龍籠山と境川の源流域」 ■城山探訪「堰のことば碑」 ■しろやまミニ図鑑「ピワ」 ■城山検定 ■活動報告「エコミュージアムツアー」他 ■インフォメーション「つどいのお知らせ」



「令和5年度城山エコミュージアムツアー」開催

日時 令和5年10月22日（日）9：00～12：00

テーマ：若葉台ってどんなところ？

行程：城山公民館・中央公園・若葉台北尾根・小栗公園・榛名公園・もりっく・谷津公園・カタクリ公園・若葉台自治会館・YYわかば・砥石山公園・モミジバフウの道・グリーン公園・桂昌寺跡・城山公民館

城山地区は見どころが多い地域ですが、「若葉台住宅」のツアーは未実施でした。その「若葉台住宅」も開発されてからほぼ半世紀たち、今回初めてツアーの場所に選定。周辺地域の方々はもちろん、若葉台に長年居住されている人にも喜んでもらえるコースにしました。



若葉台北尾根へ



小栗公園



広陵もりっく



若葉台自治会館

城山公民館に集まった28名+スタッフ13名は出発してすぐに裏手の森の中をウォーク、前夜の雨で地面は多少ぬれていましたが問題なし。「スズメバチ注意」や「カエダケ注意」の看板にドキッとしながら、15分ほどで若葉台を見渡せる高台に出ました。ここから続いて若葉台北尾根の山道を歩きました。開発前はこんな森だったのかと思いながら小栗公園へ抜けて、小栗の滝を模した排水路や、歩道橋からの市内絶景、小学校裏手の学校林「広陵もりっく」を見ながら周回して自治会館へ。

ここで地域巡回の電気自動車グリスロカーを見学。住民集いの場「YYわかば（わいわいわかば）」で昔の風景写真の展示を見て、モミジバフウのきれいな並木通りを下ったあと、桂昌寺跡地から、もう一度若葉台全景を振り返り、春林横穴墓群横を抜けて公民館に帰着、約9,000歩の道のりでした。（柳井 正晴）



モミジバフウの道



YYわかば

城山検定

問題

若葉台の公園には昔からこの地にあったゆかりの名前が付けられています。その一つに小栗公園があります。さて、この名の由来は何でしょうか。

- ① 昔からの栗林があった
- ② 小栗の滝と言う名の水場があった
- ③ この辺りを小栗沢と言った

*答えは4ページ





昔の写真展示「懐かしい城山町」

日時：令和5年9月19日（火）から1ヵ月間

夏祭りやお月見など城山地区の風物詩を写した写真を展示しました。かつての幼かった自分を見つけた方から手紙をいただき、地元の方々との交流が生まれる嬉しさを感じました。（田畑 房枝）



城山もみじ学級ガイド「知らなかった大発見！城山ご近所散策」

日時：令和5年11月9日（木）13：30～15：30

秋晴れの下、小松地区をガイドする予定でしたが、数日前に若葉台で熊の目撃情報があったため公民館でのレクチャーに変更されました。画像を見ながら詳しくゆっくり説明ができたため「これから散策するときに思い出して興味を持って歩くことができます。」という感想をいただきました。しかし、「現地を見ながら散策できなくて残念！」というのが学級生27名、委員7名の共通の思いでした。（金子 直美）



「学びの収穫祭」：相模原市立博物館

日時：令和5年11月18日（土）～19日（日）

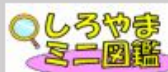


博物館を拠点に活動する団体やボランティアグループなどの研究成果や活動状況を発表する「学びの収穫祭」。城山エコミュージアム委員会では、令和4年10月23日（日）に行った城山エコミュージアムツアー「向原ってどんなところ？」の活動を展示発表しました。ツアーに参加したい方や遺跡や名所を歩いてみようという方、地域を活性化するためのアドバイスをしてくださる方など、多くの方に城山エコミュージアムの活動に興味・関心を持っていただきました。（長久保 梓）

冬の文化財探訪ガイド「境川上流域の豊かな自然と文化遺産」

日時：令和5年12月2日（土）13：00～16：00

相模原市文化財研究協議会主催のツアーガイドをしました。相模原市全域から33名の参加者とスタッフ13名で、川尻八幡宮、原宿用水跡、穴川、小松の里地をめぐるしました。途中、地元の方々との交流もあり、エコミュージアムの活動を伝えられたまたとない機会となりました。（田畑 房枝）



ビワ（バラ科）

ビワは、初夏に八百屋さんの店頭に並ぶ高級果物です。相模原・城山地区では、民家の庭先や畑の隅に植えられていますが、ときおり近くの里山でも見かけます。

花が咲くのは11月頃から1月、色や形は地味で毛むくじゃらでほとんど目立ちませんが、とても良い香りがします。果実は大きく甘くとてもみずみずしい。そのうえ、昔から種も葉も樹皮も薬用として重用されてきました。材は弾力性に富み木目も美しいので、櫛、印材、杖などに使われます。日本での自生地は、温暖な九州や四国の石灰岩地だそうです。

（文・絵 多羽田 啓子）





地域がわかる・学ぶ・楽しむ

城山エコミュージアムのつどい

参加者募集!

“まちまるごと博物館” 城山エコミュージアム委員会の活動紹介と、皆様と一緒に学び楽しむ「講演」を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和6年2月17日（土）13:30～16:00

会場：城山公民館・大会議室（緑区久保沢2-26-1）

内容：①活動紹介

②事例紹介「若葉台ってどんなところ？」ガイドツアー

③講演「らんまん 牧野富太郎とゆかりの植物」

「日本の植物学の父」牧野富太郎博士の功績と城山地域でも見られる博士ゆかりの植物について紹介します。

講師 秋山 幸也氏（相模原市立博物館学芸員）

定員：40名（先着順） 申込開始：令和6年1月23日（火）午前9時～

申込・問い合わせ：城山公民館 TEL：042-783-8194

※月曜および祝日の翌を除いた午前9時～午後5時 ※参加費無料

主催：城山公民館 主管：城山エコミュージアム委員会



城山探訪

「堰（せき）のことば碑」

境川周辺を散歩することが多い。新田橋（しんたばし）から下馬の橋を往復する人によく会う。このあたりの川幅は狭く景観もきれいで安心な道である。

境橋と川島橋の間の町屋寄りの広場に「堰のことば碑」が立っている。石碑には「根岸水田堰及び用水路改修工事竣工記念碑」とある。表面にはひらのしゅうやの「堰のことば」、

裏面には改修工事費と工事に関わった23人の名前が刻んである。散歩の途中に寄ってみてはいかがですか？

（吉田 徳雄）



城山検定

解説

答え：②番

若葉台が出来る前の地名は「久保沢谷津（やと）」と言い、公園の近くに「小栗の滝」と呼ばれた水場がありました。小栗判官と言えは照手姫と幾つかの伝説を残した馴染みのある人ですが病気になった時、この滝に打たれて治ったと言う伝説がこの地に残されています。（塩谷 弘道）



<小栗の滝>

<出典：八木蔦雨著「久保沢こぼれ話」「城山夜話」>



編集後記

改めてこの通信を見ていると、私たちは自然や歴史に囲まれた、なんて素敵な場所に住んでいるのだろうかと思う。電車に乗って遠くへ行かなくても家からすぐに風光明媚な場所に行ける。住宅地ですら観察、観光に値する。さて、2024年はどちら方面を歩こう？

（柳井 正晴）

企画/作成：

相模原市立城山公民館 城山エコミュージアム委員会

発行：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721

ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索

相模原市立城山公民館ホームページ

<https://sagamihara-kouminkan.jp/shiroyama-k/>

